

『終活戦線異状なし!?!』

医療相談員 鈴木友彰

エドワードエルガー作曲、威風堂々。先日、家族で入った回のお寿司屋さんで流れていて、子どもが♪もしもの時も、終活も、イオモそうさい〜♪と歌っていて笑ってしまいました。子どもにも終活が浸透しております。『終活』は、死と向き合い、最後まで自分らしい人生を送るための準備のことです。「人生の終わりについて考える活動」を略した造語で、2009年に終活に関する書籍が出版されたことを機に徐々に広がりはじめました。ご存知の通り、病院は病気を治すところですが、残念ながらお亡くなりになる方がいます。

今回は、病院ではタブーかもしれませんが、人が避けては通れない「お亡くなりになった場合」の「費用」について書かせていただきます。

病院でお亡くなりになる方は、入院患者さん、救急で運ばれてきた患者さんなど、様々です。入院患者さんの場合は、病棟で亡くなられた後、エンゼルケアのご希望を伺います。エンゼルケアは、お体をきれいにして化粧をして、料金は8,400円。保険対象外です。その後、ほとんどの方が葬儀会社に依頼され、病棟に迎えに来た葬儀会社と自宅や葬儀場に帰ることになります。入院費+葬儀会社に支払う金額が必要になります。救急患者さんの場合も同様で、エンゼルケアの後、葬儀会社に依頼され、帰られます。外来会計+葬儀費用が必要になります。搬送費用は以下に記述します。

私たち病院の相談員が関わるケースとしては、例えば身内や引きとられる方がいない場合や、生活保護を受給されている方、また身元が分からない方などです。亡くなられた方が困らないように最後のお手伝いをいたします。相談員が関わる費用は無料です。

では、葬儀会社を利用した場合の費用ですが、葬儀会社によってまちまちです。大きく2つのプランに分けられます。

- ① 直葬プラン 10万円前後 病院から葬儀会社に搬送され、直接斎場に行きます。生活保護の方や市役所が喪主になる福祉葬の方などが、利用されます。葬儀等は行われません。
- ② 家族葬 20万円～100万円以上も 参列される人数や、お花、祭壇などにより値段が変わります。家族葬には故人にあった葬儀のプランをご家族様と葬儀会社で相談し行うことができます。見送る方の希望に沿った葬儀を行える場合があります。

その他に、読経料、戒名料、祝詞等で住職や神主に50万円もかかるケースもあるようです。総額200万円以上になるケースもあるようで、葬儀会社に勧められるままに大きな祭壇や式場を手配して、葬儀費用が膨れ上がっていく、といったことがあるようです。今は、葬儀に関する情報をネットで集められるようになり、最適な葬儀内容と費用を把握できるようになりました。見送られる方も見送る方も納得のいく葬儀を行うために、まずは葬儀費用の内訳について知っておきましょう。これも『終活』のひとつですね。

